

---

# 俺に勉強させてくれえー

のどあめ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺に勉強させてくれえー

### 【Nコード】

N2470D

### 【作者名】

のどあめ

### 【あらすじ】

勉強の場塾で勉強できない俺、理由はメンバーにあった

俺の名前は佐久間将寺令、とても急いでいる……

「あと5分だ、急がないと、」

今、俺は塾にむかっている「塾」と聞くと勉強の場と思う人がほとんどだと思うが

俺が向かっている塾は普通の塾じゃない……

勉強ができない塾だ！！！！！！

これを聞くと先生が馬鹿だと思う人もいるだろう。そうではない、塾にいるメンバーがすごいのだ。

ではこの物語の始まりである

「ふう、何とか間に合った……」俺

「この時間はまだ誰も来てないのか」

「授業が終わるとみんな来るんだろうなあ、はあ」

そして授業が始まり・・・キーンコーンカーンコーン・・・

終わった

この塾には三つの部屋があるひとつは授業を行う部屋、二つ目は自習室、三つめは談話室

授業がおわった俺、自習しに自習室に入ったら、

「おお~~~~い!!!!!! 佐久間!!!!!!」

・・・こいつは「高木」塾に来ても遊んでいて勉強をしないうるさい奴だ、そして変体

一言で言うとな塾の邪魔者だ。力強くて背がたかい誰も逆らえない・・・

「自習するのか??? 佐久間???」高木

「おう」俺

「俺と遊ぼうぜ!!!!!!」高木

おいおい——;;、——俺たった今勉強するっていつてんのに・・・つか声でけえ!!!!!!

「無理だよ」俺

「しょうがねえ、正明遊ぼうぜ!!!!!!」高木

まごめき正明とは、高木にくつついていていつも遊んでいる奴だ。

つか、いじめられてるのかな??? まあ関係で言えばジャ アンとスオの関係だ。

「えええ俺勉強してるからあ」正明

「関係ねえ!!!!!! こい俺トランプ持ってきたから遊ぶぞ!!!!!!」

高木、、、声でかい

ビシッ高木の手が正明の後頭部に直撃!!!!!!

ここでは勉強できねえと思った俺は談話室へ。。。。。  
談話室の扉を開けると、そこには俺が知ってる三人が！

「よぉ~~~~！！」三人

「・・・おう」俺

「授業だったの??？」

こいつは嘘太郎。いつも嘘ついている奴だ、本名があるのだが忘れた。

「自習室つるさくて勉強できねえよ」俺

「あぁ~~~~高木でしょ！」

こいつは学<sup>まな</sup>負けず嫌いで子供っぽいく結構オタクだ

そしてもう一人は明夫<sup>あきお</sup>この塾で俺とこいつくらいが平凡だ。しかしこいつはほとんどしゃべらない。

「そういえば高木って鬼ばばと付き合ってるらしいよ」嘘太郎  
さっそく嘘だ。鬼ばばはこの後出てくる

「マタ嘘だろ」学

こいつらは毎回この繰り返しだ・・・

この前テストが帰ってきた俺は結果は最悪で勉強しようと思気込んでいるが勉強ができない。

カランカラン

誰かが入ってきた。。。。

「佐久間ちゃん」

「うわっ、鬼ばばだあ」俺

鬼ばばとは背が低くて顔があまりかわいくないが男子になれなれしい女子だ

「この前のテストは何点だったの???佐久間ちゃん??」鬼ばばちゃん付けかよ・・・・ここは聞こえないフリして勉強しろ。

「俺499点だったよ」嘘太郎

はいっ、嘘です!こいつは俺より頭悪い!

「えええ、シカトかよぉ」佐久間ちゃん「鬼ばばお前も嘘太郎シカトしただろ・・・・」

「まあいいや、自習しろ!じゃね佐久間ちゃん」  
タッタッタ

「ふう、いなくなっただか・・・頼むから俺に勉強させてくれ」

・  
・  
・

ガチャ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

俺の心が本能的に警戒信号を赤にする。

「佐久間~~~~!!!!!!俺とやろう!!!!!!」高木

「.....」一同

「さくまあ、一緒に遊ぼう」正明

「佐久間ちゃん~~~~ん、テストの点教えてえ~~~~」鬼ばば

・・・高木変体!!!!!!正明帰れ!!!!!!鬼ばば、消えろ!!!!!!

「つか、おまえ~~~~、俺に勉強させてくれ~~~~」。

今日も一日塾での無駄な時間が過ぎてった.....

## （後書き）

最後は無理やりオチに持って行きました。

もつと書きたかったのですが、時間がなかったのです。

すいません変な小説になりました、、

ちなみに半分ノンフィクションです



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2470d/>

---

俺に勉強させてくれえー

2010年10月14日11時26分発行